

子ども議会 一般質問 ここがききたい！

問 私が病院に行ったときに、中学生までが医療費助成の対象なので、安心して住める町だと実感しています。その反面、自分が高校生になったときのことを考えると不安になります。

子育て医療費の助成を高校生まで



上林 洸生 議員 (秦荘中学校)

僕は、子ども議会に出席して議会の進め方、愛荘町の行政など様々なことを学びました。今日学んだことを日々の生徒会活動で生かしていきたいです。貴重な体験ができて良かったです。

答 (住民課)

子育てのしやすい環境を整え、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、平成26年10月から中学卒業までの医療費無料化を実施しています。

今、町は若い人々が少しずつ増えていると学習しました。しかし、今後よりいっそう人口増加・地域活性化のために少しでも子育てしやすい環境を整えることが必要だと考えています。そのため子育て医療費の助成を高校生まで対象にすることが、住みよい町にする効果的な方法だと考えます。答弁を求めます。

子ども議会 一般質問 ここがききたい！

人と自然が調和できるまちづくり



小原 温志 議員 (秦荘西小学校)

子ども議会を終えて、僕はすごく大きな達成感をもっています。本番では緊張してまちがえた部分もあったけど、練習を何度もくり返した成果が出て、ほめてもらったのでうれしかったです。

浅居 奏汰 議員

僕は、今まで人前で話すことが苦手だったけれど、子ども議会を経験して、少し克服できました。子ども議会が、自分にとってとてもプラスの経験になったと思います。

答 (農林商工課)

町は、美しい自然環境が農業をはじめさまざまな産業を発展させてきました。森林には、森林浴のようなレクリエーションのほかにも木材を生産したり、水源を守ったり、土砂災害を防止したり、多様な生物のすみかになったりなど、私たちに役立つたくさんの機能があります。遊歩道やイベントなどの情報を積極的にPRし、一人でも多くの人に自然に親しんで理解してもらおうことで、人が森を守り、森が人を守る「人と自然が調和できる町づくり」を進めていきます。

商業施設を誘致



中村 睦蔵 議員 (愛知川東小学校)

子ども議会に出て緊張しました。でも質問を上手に言えたり、実際に答弁してもらえたり、とても良い経験になりました。愛荘町がよりよい町になってほしいです。

地原 悠人 議員

練習の時はあまりきんちょうしなかったけど、本番ではやっぱりきんちょうしました。発表の時に声を出そうとがんばり、練習の成果を出すことができました。よかったです。

問

町にはいくつかの商業施設がありますが、衣類や靴、スポーツ用品等を買うのは町外の商業施設であり、距離や時間を考えると大変不便です。

答 (農林商工課)

町では企業誘致のPRをしています。商業施設を含めた企業が町に来ることは3つのメリットがあります。
①雇用を生むこと。
②個人消費が増え、地域が活性化すること。
③企業から税金が入り、税金が増えると住民サービスにお金を充てることができ、住民生活が潤う。
町がどのような誘致を進めていくのか、検討の最中であり、町やそこに住む人にとってメリットのある商業施設等の誘致を進められるよう、努力していきたいと考えています。

ICT機器の充実



向角 映南 議員 (秦荘中学校)

貴重な経験をさせて頂き感謝しています。子ども議会で学んだことを生かして、愛荘町民の一人として、故郷のために何が出来るかを考え、行動していける人になりたいです。

問

これからの時代は、プログラミングをはじめすべての教科でICT機器を使って学習することは必要だと感じています。

答 (教育振興課)

町では令和の教育改革を進めており、将来を見据えた安全・安心で快適な教育環境づくりに努めています。学校のICT機器については、町内6小中学校のICT機器の充実を図っているところです。
ICTの環境整備により、2年4月から始まるプログラミング教育の導入に備えています。ICTを使った授業を増やし、将来的にはタブレット導入の調査・研究を進め、意欲がわき理解を深め、情報モラルを正しく学べる環境づくりを進めていきます。

夢架橋を2年生にしてほしい



細江 晟司 議員 (愛知中学校)

僕は、今回の子ども議会で議員さんの大変さを知ることができ、愛荘町をよりよくするために議員さんを含め多くの方が日々頑張っておられるのをもっと感じることができました。このような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

答 (まちづくり協働課)

姉妹都市交流派遣事業夢架橋は、ウエストベント市へ、毎年夏休みに町内中学校3年生を派遣し、異文化理解を深め、国際社会に対応できる人材の育成を図ってきました。しかし、ご指摘のとおり夢架橋への応募をあきらめている生徒がいることも認識しています。

8月という実施時期については、現行の夏休み期間中が最善であり、変更することは考えておりませんが、3年生が参加をあきらめざるを得ない現状が存在することを重く受け止め、2年生を対象学年に追加または変更することも含め検討していきたいと考えています。



桂田 勇希 議員 (愛知中学校)

子ども議会に参加して、いろいろな事を決めておられる議場で、自分の抱く思いを質問でき、緊張しましたが、貴重な体験をすることができてよかったです。

答 (経営戦略課)

町が保有する庁用バスは多くの団体が利用され、ほぼ毎日、いずれかのバスが稼働している状況です。庁用バスの部活動利用については近隣市町の状況は、本町のように学校との協議で独自のルールを設け、県内外への練習試合など利用できる市町はありませんでした。また、1台のバスを1回運行するには、約3万5千円の経費がかかります。その費用は、住民皆さんの税金が使われています。

このような状況を踏まえて、庁用バス運行管理規則に基づき、学校と協議しながら進めてまいります。乗車人員については、現行のままご理解ください。